

〈資料1〉

令和3年度

第2回宇治市小中一貫教育推進協議会 資料

令和4年3月11日(金)18時00分～
宇治市役所 8F 大会議室

目 次

1 令和3年度宇治市小中一貫教育中学校ブロック活動状況	… 1
2 令和3年度中学校ブロック年度総括票	
・宇治中学校ブロック	… 4
・北宇治中学校ブロック	… 6
・槇島中学校ブロック	… 7
・西小倉中学校ブロック	… 8
・西宇治中学校ブロック	… 9
・南宇治中学校ブロック	… 9
・宇治ひろの学園(広野中学校ブロック)	… 11
・東宇治中学校ブロック	… 12
・木幡中学校ブロック	… 13
・宇治黄檗学園(黄檗中学校ブロック)	… 15
3 令和3年度宇治市小中一貫教育推進協議会の活動報告	… 16

令和3年度 小中一貫教育中学校ブロック活動状況(1)

1 宇治中B	② ブロック目標 ○運営組織体制 △二二九コアデーター校務分掌 △教科連携教員教科等	○ 合同研修会・研究会等	○ 体験活動 □ 児童生徒交流活動	○ 家庭・地域と連携した取組 ○小中一貫教育校などより(FUTT)を発行	○ 学力診断システム活用 □ 家庭学習の取組	○その他 □研究指定事業 △小中連携
	③ ふるそと手話を愛し、みんなを尊重し、たまごしく生きる 児童生徒の育成」 ○ブロック校長会、ブロック教頭会、コーディネーター会 ○人権教育研修(VTR視聴) □小学校教務主任 △市英語	● 小中合同研修会(8月) 2学年は各教科部会において授業研究会 △愛地、人権教育研修(VTR視聴)	□中学校生徒会による中学校生 活(動画)の作成・活用 ■交流の取組(クラブフェスティバル、服伝会同連取)の中止	■宇治市アカションプランににおいて国語力を じこうえて実施し、「主体的・創造的で深い学 び」の視点での授業文部・学力調査の分析・活用研修	○宇治市アカションプランににおいて小 6児童が象徴的に不安解消の取組 □コミュニケーション・スクール研究会 (委託小)	
2 北平治中B	④「学力の向上を目指し、多角的に小中の連携を進めめる」 ○3校校長会議(校長、教頭、コーディネーター) 企画分析、家庭学習、授業改善、児童・生徒支 援、外國語(英語)、特別支援、教育相談担当 □中学校教師 △市英語・体育】	● 学力部各係会の顧問と学生代表室との方 金打金せがでござ 北平治中ブロック小中一 金企画会議で一括して行うことになった。 ● 途合会議で各係会の実施ができなか つ。	■小学生の半日入學の取組がで きなかつた。	● 小中一貫教育百ニュース(発行) △「家庭学習の手引き」を発行し、有効利用 ができるなかつた。	○中學入學前の「書休みの宿題」 を改訂し、発行	
3 横島中B	⑤「豊かな人間性と未来を創造する子どもの育成」 ○要素会議(校長、教頭、教務主任) ブロックの校長会議、教頭会議、コーディネーター会議 部会(特別活動、生徒指導、特別支援教育、特別の 教科直達、園芸、授業、授業作り) □中学校教務主任 △市英語】	● 第1回各校研修会 第2回合同研修会(8月) 第3回中学校の授業研究会に小学校の コーディネーターのみの参加で受講 Zoomでコーディネーター会議を実施 ●(市英語)	● 腸の力プロジェクト(ボスター筆 のやりとりをしながら全校で取り 組む) 中学校生徒会による中学校生 活(動画)の作成・活用 ■小・中学生の主張交流会は鑑 賞したものを持過 □原章会の接觸運動 □小中絵画巡回展	○小中一貫教育便り「マキシマム」 の発行・HP掲載 △各校の研究成果の交流による 小中連携、小中連携の推進	△各校の研究成果の交流による 小中連携、小中連携の推進	
4 西小鷲中日	⑥「小中9年間を通して 地域と共に子ども達の豊かな心と 確かな学力力を育む」 ○西小鷲中ブロック小中一貫教育推進会議 (校長部会、教頭部会、コーディネーター部会) ○学力会議、向上部、生徒指導部、児童・生徒文部、養 護業務部会 □[市英語]	● 先生当初の総会、夏季合同研修会、全国 授業見本は中止	■ 優秀生徒の交換の取組は実施 できなかつた。	○「家庭学習の充実につながる 意識アンケート」の実施 ○家庭学習の手引き ○学校だよりやHPで発信 ○各校の「一貫教育コーナー」 (掲示板)の充実 ●小中一貫だよりが通常通り進 行できなかつた。	△定期テスト講座と進学に向けて の説明	
5 西宇治中B	⑦NIS目標「自立への学びと社会性の育成を推進し心から でたくましい人間を育てる」 ○小中一貫教育推進会議 (ブロック校長会、ブロック教頭会、コーディネーター会 議) ○領域3削減(学力充実、生徒指導、教育相談、特別支援 教育) ■中学校生徒指導主任 △市英語】	● 合同研修会(6月は各校で要施、8月中 止、10月)	○小6対象「中学校の学習」説明 会の啓発 ○朝のあいさつ運動 ■運動会回数は実施できなか つた。	○「書休みの宿題」を作成実施 △「学習の手引き」		* 印が黒塗りになっているものは、前年度よりもしくは中止になつたもの(新型コロナウイルス感染拡大防止のための中止や縮小は下線)。

令和3年度 小中一貫教育中学校ブロック活動状況(2)

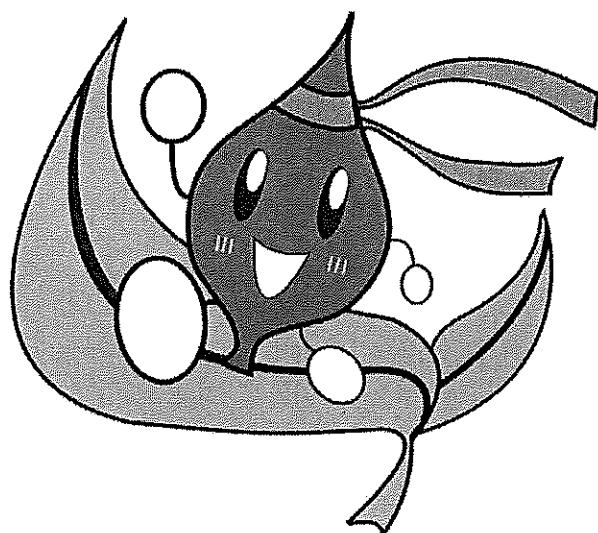
	◎ プロック目標 ○ 運営組織体制 ラニニアードコネクター校務分掌 △ 教科選択教員教科等	○ 合同研修会・研究会等	○ 体験活動 □ 児童生徒交流活動	○ 家庭・地域と連携した取組 □ 授業システム △ 家庭学習の取組	○ 学力診断テスト活用 □ 授業システム △ 家庭学習の取組	○ その他 □ 研究指定事業 △ 小小連携
6 南宇治 中日 B	◎「要や希望を持つて未来を切り拓ける児童生徒の育成」 ○児童生徒部(後援づくり部、基礎基本の定憲部) ○児童生徒理解部(特活部、生指、教頭部、特支部、 附属部、外国人理解部) ○連携・支援部(生涯・学年部、事務部) ◆【府理科】	● WEB会議システムを使用して各校で研修会 (動画)の作成・活用 ■児童生徒の交流活動は実施できなかった。	○中学校生徒会による中学校生徒会 (動画)の作成・活用 ■児童生徒の交流活動は実施できなかった。	●学校だよりで小中の取組発信 ●小中二貫貫通によるICT端末やWE会議システムを活用した授業の提供	○「学生の意欲を高めるために3校共通の HOT-MEETING(3校合同開催) ○HOOP(字形ひろの学園小中一 貫だより)発行・HP掲載 ○中学校生徒会による紙芝居の読み聞かせ ■小学生からの定期テスト等のアンケートに対して中学生が回答する形で交流	○中学校定期テストへの不安軽減の取組 △小文交流や連携の充実(定期的な情報交換)
7 広野中日 B	●「夢や希望を持つて未来を切り拓ける児童生徒の育成」 ○学校運営部会(プロック校長会)、教頭部会、務局部会 (コーディネーター部会)、学力部会、児童生徒理解部会、 児童生徒部会、その他の部会(小小学年部会) ○中学校数学 △[府数学]	●総会、研究会(顔面・登壇による情報共有) ○生徒会zoom開催 ○福島ひまわり親プロジェクト ○中学校生徒会への紙芝居の読み聞かせ ■小学生からの定期テスト等のアンケートに対して中学生が回答する形で交流	●「学生の意欲を高めるために3校共通の HOT-MEETING(3校合同開催) ○HOOP(字形ひろの学園小中一 貫だより)発行・HP掲載 ○「家庭学習の手引き」等改訂予定 ■定期テストに対する小中連携	○中学校からスクールライフサポートブックを小学6年に配付 ○先スタッフ(中学校入学前の学習)を小学6年に配付 ●定期テストに対する小中連携		
8 東宇治 中日 B	●命をかがやかす人間」プロック校長会議、プロック教頭会 誰、コーディネーター会議 ○学力充実推進部会 ○研究授業部会 ○小学校教経主任 △[府英語]	●人数制限を設けて合同授業研究会を実施 ○各校の学校便りで取組の発信 ●各校便り ●小中二貫教育によりは発行できなかつた。	○各校の学校便りで取組の発信 ●各校便り ●小中二貫教育によりは発行できなかつた。	○授業スタンダードの活用 ■アクションプランによる実践紙面自の審計結果を基にした紙面交換 ○「家庭学習の手引き(保存版)」の配付	○中学校からスクールライフサポートブックを小学6年に配付 ○先スタッフ(中学校入学前の学習)を小学6年に配付 ●定期テストに対する小中連携	
9 木幡中日 B	⑤「故郷ふるさとで夢や希望をはぐくみ、未来を切り拓く児童生徒」 ○プロック委員会(プロック校長会議、プロック教頭会 等)、 ○学年別会議 ○新入生保護者説明会を開催	●小中合同研修会(6月と8月は中止、11月) 口中学校生徒会による中学校生徒会 (動画)の作成・活用 ●小中二貫教育によりは発行できなかつた。 ○取組をHPに掲載、 ●新入生保護者説明会を開催	△家庭学習の手引き ○中学校の「学校だより」「生活だより」を6年生に配布 ●小中二貫教育によりは発行できなかつた。 ○取組をHPに掲載、 ●新入生保護者説明会を開催	○6年生卒業後の身体み宿題(国語・算数・英語) ◆三段階評価による小中連携は実施できなかつた。 木幡山小・笠取東小・笠取東二小・御陵山小・7生取小・笠取第二小		
10 黄栗中日 B	○黄栗ウォーター(19年生) ○OBAKU(67年生) ○総務班活動(1~6年生など異学年集団活動) ○学園会連絡会開催	○生徒指導部、教育相談部の連携による児童生徒の実態把握 ○小中一貫化の組織を構成 ○小学校教務主任 △[府英語]	○HPを活用して取組の発信 ○親のための進路説明会の開催 ○中学校でのテスト実施状況や課題点を調査分析	○学力テストの結果を受け、小学校段階での改組化(京都府未来の担い手育成プログラム)研究校(京都府立総合研究所の取り組み) △[府英語]		

* 印が黒塗りになつていてるものは、前年度よりも変更もしくは中止になつたもの（新型コロナウイルス感染拡大防止のための中止や縮小は下線）

令和3年度

中学校ブロック毎 ジョイントプラン

活動総括図



宇治市教育の日シンボルキャラクター：ハチャ君

1 宇治中学校ブロック	6 南宇治中学校ブロック
2 北宇治中学校ブロック	7 広野中学校ブロック
3 横島中学校ブロック	8 東宇治中学校ブロック
4 西小倉中学校ブロック	9 木幡中学校ブロック
5 西宇治中学校ブロック	10 黄檗中学校ブロック（施設一体型）

令和4年3月

宇治市教育委員会

令和3年度 宇治中学校ブロックジョイントプラン 活動総括図

一宇治中・菟道小・菟道第二小一

教育目標・めざす子ども像

○ふるさと宇治を愛し、みらいを展望し、たくましく生きる児童生徒の育成

めざすこども像

- ・ともに学び、考える児童生徒
- ・たくましく生きる児童生徒
- ・笑顔を大切にする児童生徒

本年度の目標・推進の方向性

○小中9年間の一貫した学習指導・生徒指導を行い、「生きる力」の柱となる児童生徒の「確かな学力を育む。

○児童生徒が人権尊重の理念を正しく理解するとともに、思いやりの心を持って行動できる児童生徒の育成を図る。

○小中学校教員による合同研究を通して、小中一貫教育を意識した授業実践力・人権意識の向上を図る。

本年度の取組（実施内容を見直した取組を含む）

○系統的・継続的な学習指導・生徒指導の充実

- ・学力（国語力）の向上に向け、各教科部会において、授業研究会を実施し、感染対策防止策を講じた上で、「主体的・対話的で深い学び」の視点での授業交流・改善を進めた。
- ・菟道小学校での同和問題に係る直接学習を多くの教員がビデオ参観できる機会を設定した。
- ・養護教員部会では、中学校に進学する児童や中学校に進学した生徒についての交流を行った。
- ・全国学力調査と4年学力テストを分析し、ブロックとしての課題や方向性の共有を行った。

○家庭や地域との連携

- ・中学校教員が、中学校の「定期テスト」に対して不安感を持つ6年生児童に対して、どう取り組めばいいかといった話をする機会を設けた。
- ・中学校の学校だよりを6年生全員に配付し、中学校の様子をよく知つもらうとともに、各小学校の学校だよりを中学校の掲示板に掲示した。

本年度取り組むことができなかつた計画について（箇条書き可）

○中学校ブロックにおける特色ある教育活動の展開

- ・交流の取組（クラブフェスティバル、駅伝合同練習、鼓隊クラブ・吹奏楽部合同練習）

○家庭や地域との連携

- ・FUTT の発行

本年度の成果と課題

- ・学力（特に国語力）の向上に向け、各教科部会において、実践交流シートを活用し、授業研究会を感染症防止対策を講じた上で実施し、「主体的・対話的で深い学び」の視点での授業交流・改善を進めた。
- ・外部講師を招聘し、現状を踏まえての授業改善と評価の方法についての研修会を行った。
 - ・菟道小学校での同和問題に係る直接学習（社会科）では、参観することができ、同和問題への理解を深めることができた。
- ・養護教員部会では、より深い交流により、児童生徒への効果的な支援を行うことができた。
- ・小学校 6 年生が中学校教員により「中学校での定期テスト」に対しての話を聞き、中学進学への不安解消につながった。
- ・宇治市の「アクションプラン」を本ブロックの具体的な取組方策として学力充実を進めることができた。
(課題)
- ・児童生徒の国語力の向上に向け、各教科部会において授業研究会を軸に授業改善を進めている。それをふまえ、各校で全教科部会の授業改善策の共通理解と情報の蓄積を行う必要がある。

次年度に向けて

- ・指導の一貫性と評価の方法について情報を共有していく。
- ・今年度、コーディネーターを中心に行つた小学校 3 年生の国語の学力分析を次年度は小学校 4 年生を対象に行い、成果の検証を継続していく。
- ・積極的に外部講師等を招聘し、研修会を実施する。

令和3年度 北宇治中学校ブロックジョイントプラン 小中一貫教育活動総括図
—北宇治中・小倉小・北小倉小一

教育目標・めざす子ども像

- ☆ブロック小中一貫教育目標「学力の向上を目指し、多角的に小中の連携を進める」
- ☆めざす子ども像 「・自ら考え、自発的に表現できる子（知）・人と地域のつながりの中で豊かな心を育て、他を大切にする子（徳）・運動に親しむことにより、楽しく生活できる子（体）」

本年度の目標・推進の方向性

- (1) 小中学校の教員が連携して学力の向上を図る。
 - ・学力向上のための方策を研究する。（小中一貫の視点から、具体的な方策を探り実践していく。）
- (2) 学力部を中心に、小中一貫教育を推進する組織力を向上させる。
- (3) 保護者や地域住民などに、積極的に小中一貫教育の取組や成果等を発信する。

本年度の取組（実施内容を見直した取組を含む）

☆中学校ブロックにおける系統的・継続的な学習指導に関わって

◎9年間を見通した学習指導を研究

①学力部各係会（日常的活動）…学力分析・家庭教育、授業改善、道徳、外国語（英語）、特支・教相、児童・生徒支援

△生徒指導の充実に関わって（特支・教相係）（児童・生徒支援係）

・対象児童、生徒に対する有効な方策やアプローチの方法を示していく。

・小学校、中学校それぞれの児童、生徒の実態交流をより細かく行い、一貫して連携を図っていく。

☆中学区ブロックにおける特色ある教育活動の展開に関わって

①授業参観の実施 ②学力の実態把握と分析 ③カリキュラム作成における連携 ④児童・生徒の交流

☆家庭・地域との連携に関わって

①小中一貫教育ニュースの発行…原則、学期に1回程度発行し、活動内容を保護者・地域に紹介

②家庭学習の取組…「家庭学習の手引き」※などを活用し、保護者の協力を得つつ、家庭学習の定着を図る。（※各校HPにも記載）

本年度取り組むことができなかつた計画について（箇条書き可）

- ・小中学校での授業参観が実施できなかつた。（以下、新型コロナウイルス感染症との関係）
- ・学力部各係会における顧問と学校代表者との方針の打ち合わせができず、企画会議で一括して検討することになった。
- ・小6の半日体験入学や小学校における職場体験が実施できなかつた。
- ・学期一回程度の小中一貫ニュースの発行ができなかつた。
- ・総会（総括）並びに北宇治中参観を企画・設定したが、感染拡大を受け中止した。

年度の成果と課題

- ・学力部各係会における年度当初の方針の確認が、企画会議において綿密に行えた。
- ・小中一貫教育総会や学力部各係会の実施が新型ウイルスの関係でできなかつた。
- ・学力向上においては学校教育のみならず、家庭学習との関係が深いことから、新たに児童・生徒支援係を創設したが、本年度は新型ウイルスの関係で実施できなかつたが、生指上の問題を抱える児童・生徒の課題や、不登校に陥っている児童・生徒の各校の実態やその要因がより一層明らかになり、また、「取り出し授業」の実施などにより、学びに向かう姿勢の向上などの面から学力の向上につなげることができた。
- ・新型コロナウイルス感染症の関係で、年度当初の計画通りに活動できなかつたことを踏まえて来年度につなげる必要がある。

次年度に向けて

- ・長年の継続的な取組において一定の積み重ねや成果があげられており、この流れを継続する中で、次年度以降はブロックで統一した取組を進めるだけではなく、それぞれ各校での実践や取組を柔軟に交流する中で、それぞれの学校における学びを取り入れるなど、小・小連携、小中連携の中で大事にしていく必要がある。
- ・時間的や場所的な制約があり、教職員の働き方改革が行われている中で、小中一貫教育の在り方を抜本的に再構築していく視点も必要である。

令和3年度 横島中学校ブロックジョイントプラン 活動総括図
—横島中・横島小・北横島小—

教育目標・めざす子ども像

ブロック小中一貫教育目標

「豊かな人間性と未来を創造する子どもの育成」

めざす子ども像

- 心身共に健康で、明るく活動する子
- 意欲的に学び、深く考え、豊かに表現する子
- 地域でつながり、共に支え合い、高め合う子

本年度の目標・推進の方向性

【横島中学校ブロック研究テーマ】

「家庭学習・授業・ふり返りの効果的なつなぎを目指した授業改善を行い、学力向上に取り組む」

【推進の概要】

授業と家庭学習、ふり返りを効果的に繋ぎながら、切れ目のない学習サイクルを通して、主体的に学びに向かう力を向上させ、基礎・基本を定着させるための授業改善に向けた研究・研修を進めていく。

本年度の取組（実施内容を見直した取組を含む）

◎合同研修会の運営

- ・第1回…各校全体会（今年度の方針、学力向上プランの確認）
- ・第2回…講師を招いてコミュニティスクールについての研修
…各校の学力テストの分析・課題の交流
- ・第3回…中学校授業研究会（コロナ対応により各校LCのみ参加）

◎ラーニングコーディネーターによる取り組み

- ・小学校外国語授業の参観　・各小学校訪問、授業参観、各校CNとの打ち合わせ
- ・小中一貫だより「マキシマム」をそれぞれ発行　・CN会議の定期的開催
⇒各校CN間の連携を図り、ブロックの生徒理解、学力向上に努めた。

【その他の取組について】

- ◎小中絵画巡回展（中学校11/8～、小学校11/22～、横島コミセン1/7～1/14）
- ◎服のチカラプロジェクト（9～11月）　◎小中主張交流会（3/2）※録画したものを視聴

本年度取り組むことができなかつた計画について（箇条書き可）

- ・新型コロナ拡大防止のため、部会を開くことができず、授業作りや国語部会など、交流や確認ができなかつた。
- ・直接学校を訪問する形での連携を十分に図ることができなかつた。
- ・コロナ禍にあり、ほとんどの取組が中止され、実施することができなかつた。

本年度の成果と課題

- ・学力向上プログラムの改定に向けて、LC間で各校やブロックの課題を交流しながら検討することができた。
- ・服のチカラプロジェクトや絵画巡回展を実施し、コロナ禍であってもブロックとして共通した取組を進めることができた。
- ・小中の教員が交流する機会を持つことができなかつた。
- ・実際に顔を合わせる機会を持つことはできなかつたが、zoomを使用して、「夢・未来」会議やコーディネーター会議を行うことができた。
- ・夏季研修会において、CSについての研修を行い、来年度のCS導入に向けて、ブロック内で共通認識を深めることができた。

次年度に向けて

- ・ICT機器を活用し、部会を開催するなど、小中の教員が交流する機会を生み出す。
- ・基礎学力の充実に向けて、共通した目標のもとに各小中学校で取組を進め、その成果を交流し、横中ブロックの授業スタンダードを確立する。
- ・小中一貫だより「マキシマム」を学期に一度程度発行し、保護者への取組内容の共有を図っていく。

令和3年度 西小倉中学校ブロックジョイントプラン 活動総括図
—西小倉中・西小倉小・南小倉小—

教育目標・めざす子ども像

小中9年間を通して 地域と共に 子ども達の 豊かな心と 確かな学力を育む

- ・自分の考えを 豊かな表現力で伝え合う子
- ・地域とつながり 思いやりの心を大切にする子
- ・健康に気をつけ 自らの目標に向かってがんばる子

本年度の目標・推進の方向性**【目標】**

目指す児童、生徒像をもっと具体化・焦点化するために、学力とともに生徒指導面（特に登校しぶりや不登校児童、生徒への対応）でも交流していく。

【推進の概要】

- ①教員の研究・研修を充実させるための取組
- ②家庭学習充実の取組とその発信
- ③各校の校務分掌を生かした協力体制

本年度の取組（実施内容を見直した取組を含む）

- ・中学校ブロックの特色ある教育活動として教科連携加配（音楽・体育）や学園制加配（図工）、外国語専科教員による指導、各校のコーディネーターと年度当初に調整を行い、推進した。
- ・家庭との連携として「家庭学習の手引き」の内容をコーディネーター間で確認後に配付し、宿題のみでなく自主学習の取組を家庭に向けて啓発した。
- ・家庭学習アンケートを実施した。
- ・半日体験に代わる代替授業をラーニングコーディネーターが各小学校で実施した。

本年度取り組むことができなかった計画について（箇条書き可）

- ・年度当初の総会及び夏季合同研修会、合同授業研、半日体験を中止した。
- ・総会と研修会等の中止に伴い、小中一貫だよりが通常通りに発行できなかった。
- ・全国学力テスト及び府学力テストについて、中学校ブロックの学力状況を共有することができなかった。

本年度の成果と課題

昨年同様、コロナ禍におかれて、中学校ブロックにおける小中一貫教育の取組の多くに制限がかかる形となつた。今まで取り組んできた中学校ブロックの取組を再度確認し、その意義とともに取組の推進を各校に呼びかけるための推進委員会を開く時期が7月と遅くなってしまった。ICTにおけるリモート機能の活用など、有事の場合を十分に考慮した計画を立てる必要がある。

次年度に向けて

- ・これまでのブロックで築いてきた伝統の共通理解を図り、新たな時代に合った取組推進していく。
- ・合同授業研を実施する。
- ・学力分析を行い、アクションプランを考える。

令和3年度 西宇治中学校ブロックジョイントプラン 小中一貫教育活動総括図
—西宇治中・伊勢田小・神明小—

教育目標・めざす子ども像

ブロック小中一貫教育目標

N・I・S目標 「自立への学びと社会性の育成を推進し心豊かでたくましい人間を育てる」

めざす子ども像

- 知「展開する力」：・深く考え、よく聴き、意欲的に表明する子
- 徳「つながる力」：・温かい心で助け合う子 ・節度をもった礼儀ある子
・違いを認め合える子
- 体「挑戦する力」：・ねばり強く諦めない子 ・基本的生活習慣や健康を配慮できる子

本年度の目標・推進の方向性

主体的・対話的で深い学び、及び進路を見据えた学力向上の取組

「効果のある宇治市方式を進めるアクションプラン」に基づいた合同研修会及び新学習指導要領の実施のための各教科部会の充実と発展

本年度の取組（実施内容を見直した取組を含む）

(1) 系統的・継続的な学習指導・生徒指導の充実

- ・小中合同の研修会で、道徳の授業研究を行った。
- ・小中各校で、年度始めに「学習の手引き」を配布し、学習内容や学習方法について説明を行った。

(2) 中学校ブロックにおける特色ある教育活動の展開

- ・入学生対象の学習説明会を実施し、入学後、滞ることなく学習を進められるようにした。
- ・春休みの宿題は、今年度も統一したものを作成した。
- ・朝のあいさつ運動を実施し、児童会・生徒会相互の交流を深めた。（11月）

(3) 家庭や地域との連携

- ・各校の学校通信により、合同研修会や小中合同の冬まつりといったブロック内での取組を、地域に発信し理解と支援を求めた。
- ・月初めに、朝のあいさつ運動を行い、学校と地域との関わりを持った。

(4) 中学校ブロック推進体制の充実

- ・小中合同の研修会実施にあたり、ブロック校長会や推進会議等、事前の打ち合わせを行い、研修内容や組織体制についての検討をし、研修内容の充実を図った。

本年度取り組むことができなかつた計画について（箇条書き可）

- ・中2「職場体験学習」や駅伝合同練習、6年「中学校体験入学」を実施することができなかつた。
- ・夏休み中に行われる地域パトロールや地域の方々の集いとなっている西宇治オープンフェスタが未実施のため、参加することができなかつた。
- ・授業研究に向けての事前打ち合わせや、各教科・領域部会を実施することができなかつた。

本年度の成果と課題

- ・研究授業では、道徳の授業を実施した。事前の取組として、西宇治中のみとなつたが、講師を招き、道徳の専門的な知識や授業方法などを学ぶ研修を行うことができた。
- ・新型コロナウイルス感染症予防対策により、研修会の活動が制限されてしまうため、小中が協働・連携して進めることができなかつた。そのため、各校での研修会となり、研究授業の準備を行い、ブロック内の組織体制や一貫教育の意義等を確認した。

次年度に向けて

- ・学習や生徒指導において、小中ともに共通認識のもと指導を行えるように、各教科・領域部会で指導方法等を確認していく。
- ・ICTの活用を利用した授業研究会を実施する計画をしているが、十分な活用方法を習得できていない状況にあるため、講師を招き、研修を行う。

令和3年度 南宇治中学校ブロックジョイントプラン 活動総括図

—南宇治中・西大久保小・平盛小—

教育目標・めざす子ども像

○ブロック小中一貫教育目標

「夢や希望を持ち、未来をたくましく生きぬく児童生徒の育成」

○めざす子ども像

「夢や希望を持った、未来をたくましく生きぬく子ども」

本年度の目標・推進の方向性

【目標】

小中一貫教育目標達成のために、「学習の土台」と「学習の基盤」の交流を行う。

【推進の概要】

「学習の土台」は、小中一貫部会の「特活部」「生徒指導・教育相談部」「特別支援部」「帰国外国人理解部」の各部会で連携を図り、児童生徒の背景や発達を意識した取組や学習につなげられるようとする。

「学習の基盤」は、小中一貫部会の「授業づくり部」「基礎基本の定着部」「宇治学部」の各部で、授業や自主学習、家庭学習について連携を図り、学習の系統性・持続性を図る。

本年度の取組（実施内容を見直した取組を含む）

・夏期小中一貫教育全体研修会（WEB会議システム）

中学校長より「小中学校の学びから考えてみよう」と題して、校区の児童生徒の様子や学力の状況について、また、卒業生の進路について、提起され、全職員で共有した。

奈良市富雄中学校区地域教育協議会総合コーディネーターの新谷明美氏に「地域とともにある学校とは」と題して、地域学校協働活動について講演いただいた。また、本校の地域学校協働活動チーフコーディネーターの樺木博史氏より、今後の活動についてご説明いただいた。

・児童会生徒会挨拶運動

・入学説明会での生徒会による学校紹介（動画）

・小中連携教員によるICT端末やWEB会議システムを活用した授業

本年度取り組むことができなかつた計画について（箇条書き可）

・全体会

・小中授業参観

・中学校授業体験

・中学校部活動体験

・各部の取組や交流

・中国文化拳術部による武術指導（1校）

本年度の成果と課題

○小中連携教員によるWEB会議システムを活用した授業に取り組めたこと。

○WEB会議システムを活用した夏期研修の実施。

●年度当初に小中一貫教育の方針や方向性を丁寧に説明する機会を持てなかつた。

●各部の動きが2年以上滞っており、次年度以降、各部の持ち方を検討する必要がある。

次年度に向けて

○それぞれの部が小・中学校の具体的な取組に結びつくよう、コーディネーターを中心とした組織体制の転換を行う。

○OLCは統括的な立場を担う。



<教育目標> 爽や希望をもって未来を切り拓ける児童生徒の育成

<めざす児童生徒像> 自ら学び考える力 豊かな人間関係を築ける力
健やかな体で粘り強くやり抜く力 自分の生き方を求めていく力

今年度の重点目標

【目標】

「学習意欲」を切り口に学校教育の「児童生徒の学力向上（確かな学力）」への具体的なアプローチを考え、実践する。

◎「学びの意欲を高める」ための3校協働研究

- ・「『学ぶよろこび』を見つけられる学習環境づくり」を3校共通のテーマとして設定し、各学年の実態に合わせた取組を計画し、実践する。
- ・実践内容と結果をブロックで交流・協議し、学園全体としての意識向上につなげる。
- ・2学期終わりに学習意欲に関するアンケートを実施し、3カ年計画最終年度として検証を行う。
- ・ラーニングコーディネーターが中心となって分析と情報発信を行い、活動内容の共有化を図る。
- ・「新たな学力分析に係る調査研究」（2カ年計画）の実施。

今年度の成果

○『「学びの意欲を高める」ための3校協働研究』について ラーニングコーディネーターが中心となって、下記の取組を立案・運営していった。

- ・昨年度実施した宇治ひろの学園の児童生徒へのアンケートの分析結果に基づき、共通テーマについての具体的方策を学年で検討し、実施することができた。
- ・夏季合同研修をZoomと書面交流で実施する中で、3校協働研究の趣旨を再度確認し、学年ごとに検討した具体的方策を3校で確認、共有できた。

○教員間の交流

- ・コーディネーター会議や各部会を調整・開催した。

○児童生徒間の交流を目的として、下記の取組について ラーニングコーディネーターが中心となって企画・調整・運営を行った。

- ・感染対策を徹底しながら、中学校1年生による小学校1年生への紙芝居読み聞かせを実施し、交流した。
- ・Zoomを活用してHOT-MEETINGを開催し、小学校児童会と中学校生徒会が交流する事業を実施した。
- ・福島ひまわりプロジェクトを宇治ひろの学園全体の取組として3校で実施。共通の取組を通じて交流できた。

○保護者・地域との交流

・HOOP(宇治ひろの学園小中一貫だより)の発行、学校によりやホームページへの掲載をラーニングコーディネーターおよび各校コーディネーターが実施してきた。

- ・あいさつ運動を3校で同じ日に実施し、ひろの学園全体の活動として取り組むことができた。

今年度の取組

★教職員が交流・共同研究する取組

- ・「学びの意欲を高める」ための3校協働研究
- ・宇治ひろの学園研究会(5月総会、8月合同研修)
- ・小学校教員による小小交流の充実
- ・中学校定期テスト不安軽減の取組
- ・小中連携加配教諭による連携の強化 他

★児童生徒が交流する取組

- ・HOT-MEETING(3校合同児童生徒会)の実施
- ・小6の中学校体験学習での小小交流事業
- ・中学生による小学生への紙芝居の読み聞かせ
- ・福島ひまわり里親プロジェクトへの参加 他

★学力充実の取組

- ・自己の生き方を考えていく「宇治学」の充実
- ・アンケート調査に基づく学習意欲向上への取組
- ・学力調査結果の分析を通じた学力実態の把握 他

★保護者・地域と交流する取組

- ・HOOP(宇治ひろの学園小中一貫教育だより)の配付
- ・各校の学校だよりでの紹介やホームページの活用
- ・3校巡回作品展示の保護者向け公開

今年度取り組めなかつた計画

- ・宇治ひろの学園研究会 5月総会(書面交流)
- ・小6中学校体験学習(小小交流事業、小学校教員の参加)
- ・中学生による中学校定期テスト不安軽減の取組
- ・3校合同地域懇談会の開催

本年度の課題

- ・全教職員が集まっての研修会や報告会ができず、「学びの意欲を高める」ための3校協働研究等の取組について十分な周知と実感を伴った連携が難しかった。
- ・小6の中学校体験学習や部活動見学などが実施できず、児童生徒の交流の機会が大幅に減ってしまった。

次年度に向けて

- ・『「学びの意欲を高める」ための3校協働研究』で得られた知見を、次年度以降の学力充実に向けて活用できるように引き継いでいく。
- ・来年度中学校に入学してくる生徒に対しての配慮を十分行うようにする。
- ・今年度取り組めなかつた内容について、来年度の実施に向けて内容を精選し、再整理しておく。
- ・担当外の活動目的や内容を共有し、ひろの学園の教職員全体としてより組織的に活動できるようにする。
- ・一部の児童生徒だけの交流ではなく、ひろの学園全体としての交流が意識できるような取組をしていく。
- ・ラーニングコーディネーターが中心となって情報を発信し、活動内容の共有化を図る。

令和3年度 東宇治中学校ブロック
(東宇治中・岡屋小・南部小・三室戸小)
小中一貫教育の活動総括図

宇治市小中一貫教育
学校が変わり、地域が変わり、そして、
子どもたちが光り輝く小中一貫教育

教育目標 「命をかかがやかす人間」
めざす児童・生徒像 「自ら学び学習する児童・生徒」 「思いやりのある児童・生徒」
「たくましく生きる児童・生徒」 「健康や安全を考える児童・生徒」

本年度の目標・取組の方向性

これまでの小中連携や小中一貫教育の成果と課題を踏まえた取組を推進しながら、義務教育9年間で、
生きて働く学力や生きる力を身に着けさせるための系統的・統一的な指導を実現する。その中で、本ブロックの児童生徒の実態や教育の方向性・動向を踏まえた取組の工夫・改善を積極的に進める。

成果と課題

- 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、人が会することに制限があり、感染拡大防止に配慮した学校の新しい生活様式の中で、当初計画した取組の多くが昨年度と同様、中止・変更を余儀なくされた。特に柱となる小中合同研修会や合同研究授業（人数制限の中実施）を中心とした研究を進めることができなかつた。
- 「東宇治中ブロック 授業スタンダード（新型コロナウイルス感染拡大防止に対応して一部改訂）」を提示し、3小1中で日常の指導に生かし、本ブロック児童・生徒の生きて働く学力定着を支えることができた。
- 各校のアクションプランに関わる取組を紙面上で交流したりすることで、各校の学力充実・向上の取組に反映させることができた。

本年度の取組

- 授業スタンダード（新型コロナウイルス感染防止に配慮した改訂版）の積極的活用
- アクションプランに関わる質問紙指標結果を踏まえた、各校での学力充実・向上に向けた取組の推進
- 2学期 合同授業研究会の実施（人数制限有り）
 - 小学6年生の中学校体験入学に代わる映像視聴
 - 花植ボランティアによるプランター贈呈
 - 小中一貫教育コーナー（掲示板）の設置
 - スクールライフサポートブック配付（小学6年）
 - 「家庭学習の手引き」（保存版）の配付
 - 小中連携教員による外国語活動指導（小学6年）
 - 中学校便りを小学6年生に配付
 - 小中一貫教育リーフレットの配付（小学1年・新入生）

本年度取り組むことができなかつた計画

- 小中合同研修会（年間3回）
- 相互授業参観（小学校から中学校授業参観・中学校から小学校授業参観）
- 3小合同研修会+合同学年会
- 「学力充実推進部会」の開催
- 定期テスト対策授業（小学6年）※ラーニングコーディネーターによる指導
- 小学6年生の中学校体験入学
- 中学生の美術作品巡回展示
- 小中合同研究授業（会場：岡屋小）
- 小中連絡会
- 中学1年ふリストへの小学校教員支援
- 小中一貫教育便りの発行
- 中学2年生の小学校での職場体験
- 地域行事での交流

次年度に向けて

- 昨年度に続き、コロナ禍での教育活動推進する上で、新型コロナウイルス感染拡大防止に配慮した研究計画を今年度中に立案し、4月以降の状況に対応しながら、学校の新しい生活様式の中での研究の在り方を追究する。
特に、タブレット端末等ICT機器を活用した指導法等授業研究を推進する。
- アクションプランの指標についてブロックとしての分析を行い、本ブロック児童生徒の課題である「ことばの力」「主体的な学習態度」「対話的な深い学び」と関連させた研究や取組を展開する。その中で「義務教育9年間の系統的・統一的な指導で確かな学力と生きる力を身に付ける」という小中一貫教育の基本を大切にし、これまでの成果と課題を踏まえた改善・工夫を図る。
- 新しい学力観や評価について、小小・小中で研修を深め、系統的・統一的指導の充実を図る。

令和3年度 木幡中学校ブロックジョイントプラン 活動総括図

一木幡中・御蔵山小・木幡小・笠取小・笠取第二小一

教育目標・めざす子ども像

ブロック小中一貫教育目標

故郷（ふるさと）で夢や希望をはぐくみ、未来を切り拓く児童・生徒

めざす子ども像

- ①意欲を持ち、学び続ける児童・生徒（知）
- ②思いやりにあふれ、ともに伸びる児童・生徒（徳）
- ③健やかな心と体をもった児童・生徒（体）
- ④ちがいを認め、命を大切にする児童・生徒（人権）
- ⑤ふるさとを愛し、つながりを大切にする児童・生徒（地域）

本年度の目標・推進の方向性

【目標】

- ・学習指導要領（評価を含む）をふまえて、学力向上のための主体的、対話的な授業づくりに結びつく研修を木幡中ブロック全体で行う。
- ・3回の小中合同研修会において、各教科部会、連絡会毎に設定した課題について研修を深める

【推進の概要】

- ・ラーニングコーディネーターを中心に、「やましろ授業スタンダード」や「効果のある宇治市方式を進めるアクションプラン」に基づいた学力向上のための主体的、対話的な授業づくりを木幡中ブロック全体で行う。
- ・3つの連絡会（学力充実いしづえ・児童生徒理解・健康安全）と、8つの教科部会（国語、生活・社会、算数・数学、生活・理科、芸術（図工、美術、技術、家庭、音楽）、保健体育、外国語・英語、道徳）を通して、小中の系統的、継続的な指導を進める。
- ・特別支援教育の視点を生かした生徒指導の研修を継続して行う。
- ・小中一貫だよりと各校HPを活用し、児童生徒、保護者、教職員、地域への啓発活動を進める。

本年度の取組（実施内容を見直した取組を含む）

- ・小学校・中学校で「家庭学習の手引き」を配付
- ・ラーニングコーディネーターが中心となり、ジョイントプランに沿った形で行う年3回の小中合同研修会は、第1回（6／16）、第2回（8／24）はコロナのために中止、第3回（11／10）は実施
- ・全教職員が、8つの教科部会または3つの連絡会に所属し、教科部会では実践交流と次年度の研究テーマ、連絡会では、現状や実践の交流を実施
- ・小学校6年生の半日体験入学はコロナの影響で実施できなかつたため、生徒会が中心となり作成した中学校の紹介ビデオとメッセージを小学校に送付
- ・新入生保護者説明会を2部制で実施
- ・ホームページに小中一貫教育の取組を掲載し、取組の啓発
- ・各小学校の学校だよりを校内掲示
- ・小学校6年生への春休みの課題の配付、中学校1年での回収
- ・ラーニングコーディネーターが小学校を訪問し、授業の参観や行事等に参加

本年度取り組むことができなかつた計画について（箇条書き可）

- ・夏の小中合同研修会での、小中学校で共通する課題（特別支援教育）について講演 → コロナのため中止
- ・おもろいやんか木幡への参加 → コロナのため中止
- ・三校交流（6月 木幡小、笠取小、笠取第二小）（11月 御蔵山小、笠取小、笠取第二小）による小小連携の取組 → コロナのため中止
- ・小学校の懇談会で、中学校における進路指導の内容の説明会 → 中止

本年度の成果と課題

〈成果〉

- ・小中合同研修会で学力の充実・向上を図るために、教科ごとにテーマ（課題）を設定し、それについて実践、交流する予定でしたが、6月・8月の合同研修会が中止となつたため、各教科のテーマをラーニングコーディネーターが中心となり設定し、第3回小中合同研修会で実践の交流と来年度のテーマ設定を行い、主体的・対話的な授業づくりや学習指導要領における評価、評定についてより理解を深めることができた。

- ・L Cと各小学校のコーディネーターを中心に小中一貫教育に関わる取組の推進が図れた。

〈課題〉

- ・主体的・対話的な授業づくりや学習指導要領における評価、評定の具体的な実践をさらに小中で交流し、考え推進していく。
- ・小中合同研修会をコロナ禍でも実施できるように実施方法を検討する。
- ・学力充実・向上のため、目標設定シートを通してブロックの教職員のさらなる共通理解が必要である。（効果のある宇治市方式を進めるアクションプラン）

次年度に向けて

- ・小中合同研修会での研究授業の持ち方や教科部会での研究テーマについては、各教科部会で決定し、実践し学力の充実・向上に向けて取り組む。
- ・今年度中止となった、夏の小中合同研修会での「特別支援教育についての講演」は継続して行う。
- ・小中合同研修会で教育相談担当者による小中交流の場を確保する。

令和3年度 宇治黄檗学園ジョイントプラン 小中一貫教育活動総括図

教育目標・めざす子ども像

たかく すずしく たくましく

- ①高い志を持って、学びの道を究める人(質の高い学力)
- ②さわやかな心、優しい心を持った人(豊かな人間性・社会性)
- ③強い志を持って、人生を切り開く人(意欲や情熱・健康な体)

本年度の目標・推進の方向性

正解のない問い合わせ主体的・協働的に探求しようとする児童生徒の育成(小中共通)

地域に対する誇りと愛情をもつ児童の育成 (小学校)

よりよい社会を創る担い手となる生徒の育成(中学校)

本年度の取組（実施内容を見直した取組を含む）

☆ 9年間の系統的な学習指導

- ・教科等横断的な課題解決型学習による論理的思考力の育成

☆ 9年間の継続的な生徒指導

- ・9年間の継続的な生徒指導を進めるための小中での課題の共有化
- ・学園全体で一致した生徒指導の実施

☆ 9年間を通した学園会活動

- ・小中それぞれの発達段階に応じた学園会組織の構築
- ・学園での異年齢活動の精選、実施形態の見直し

☆家庭・地域との連携

- ・コミュニティ・スクールとしての特色ある学校づくり
- ・ホームページ等を活用した、学園全体の取組の積極的な広報活動
- ・親のための進路説明会の開催

本年度取り組むことができなかった計画について（箇条書き可）

- ・異年齢集団での取組
- ・小中合同での学園会行事

本年度の成果と課題

- ・コミュニティ・スクールの活動として地域の方に校外学習の支援をしていただいた。
- ・生徒指導部、教育相談部と連携し、児童生徒の実態把握をし、改善につなげることができた。

次年度に向けて

- ・教科等横断的な課題解決型学習による論理的思考力の育成に向けて、継続して研修を推進する。
- ・中学校へのスムーズな移行を目指し、小中連絡会を実施する。
- ・小中で連携して学力分析を行い、課題がどこに起因するのか明らかにし、克服する方策を示す。

令和3年度宇治市小中一貫教育推進協議会の活動報告

1 協議会の活動

小中一貫教育に関する取組全般の進行管理を行い、取組内容の点検確認とともに改善について意見の交換等を行う。

2 令和3年度の活動報告

(1) 協議会の開催

①第1回協議会 7月9日（金）

②第2回協議会 3月11日（金）

(2) 中学校ブロックの特色ある取組の視察

取組を視察し、その後現地にて交流・協議

今年度はテーマ「地域とのつながり」をテーマに視察

	日付	中学校ブロック 【視察校】	取組内容	視察委員
①	10月26日（火）	広野中ブロック 【広野中学校】	第3回 HOT-MEETING 3校合同児童生徒会	井戸本委員 市橋委員 清原委員
②	11月4日（木）	横島中ブロック 【横島中学校】	和文化体験 「着付けと生け花体験授業」	榎原会長 齋副会長 竹内委員 内田委員 田中委員

3 宇治市小中一貫教育に係る視察状況

(1) 大山崎町教育委員会より「分離型小中一貫教育の視察」

日時 令和3年11月5日（金）

視察校 宇治ひろの学園 広野中学校

(2) 広島県吳市立天応中学校より「探究的な学習の在り方に関する研究推進に係る視察」

日時 令和4年1月21日（金）実施予定→新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

視察校 宇治黄檗学園